

令和3年度社会福祉法人さやか事業計画書  
(令和3年4月1日)

## A：法人組織体制の整備

### 理事会

令和 03 年度理事会開催予定	
開催年月日	主な議事
第 1 回 ; 令和 03 年 06 月 06 日 (予定)	令和 02 年度事業報告書 令和 02 年度決算書 評議員選任・解任委員会の招集 評議員の推薦について 定時評議員会の召集
第 2 回 ; 令和 03 年 06 月 20 日 (予定)	理事長の選定、業務執行理事の選定
第 3 回 ; 令和 04 年 03 月 13 日 (予定)	令和 04 年度事業計画書 令和 04 年度予算書

### 評議員会

令和 3 年度評議員会開催予定	
開催年月日	主な議事
第 1 回 ; 令和 03 年 06 月 20 日 (予定) 定時評議員会	令和 2 年度事業報告書 令和 2 年度決算書 理事、監事の選任について
第 2 回 ; 令和 04 年 03 月 20 日 (予定)	令和 04 年度事業計画書 令和 04 年度予算書

### 評議員選任・解任委員会

令和 3 年度評議員選任・解任委員会開催予定	
開催年月日	主な議事
第 1 回 ; 令和 03 年 06 月 20 日 (予定)	評議員の選任について

### 広報活動

①「事業／活動報告」	毎月 01 日発行
------------	-----------

## B：施設／事業

### I. 就労継続支援 B 型事業所さやか工房(定員 20 名)の運営

管理者(施設長) ; 上原京子 サービス管理責任者：上原京子 職員 ; 06 名(管理者・サービス管理責任者含) 利用者 ; 18 名(04/01)
---

### 利用者支援

#### ① 作業活動

- ② 生活自立
- ③ 余暇活動（毎週土曜日に実施）
- ④ 創作活動（自社製品作品）

#### 職員

- \* 障害者福祉施設職員としての自覚・資質の向上を図る。研修の実施。
- \* 利用者指導・支援の一層の確立へ向け、ケース会議の充実化を図る。

#### 保護者

- \* サポート会議の充実
  - ・ 健康管理(生活習慣病の予防)について
  - ・ 生活/人生プランの設計について

## II. 共同生活援助事業(さやかホーム)運営

管理者 ; 上原 京子 サービス管理責任者: 中村 陽子 職員 ; 09名(管理者・サービス管理責任者含) 共同生活住居/花束; 定員 03名、利用者 02名 共同生活住居/大地; 定員 03名、利用者 03名 共同生活住居/すばる; 定員 03名、利用者 03名
---

#### 利用者支援

- ① 日常生活関連動作(掃除、洗濯、買物、食事等)、②健康管理
- ③ 金銭管理、④余暇活動、⑤相談援助、⑥共同生活習慣/規律に順応する支援。

#### 職員

- \* 障害者福祉施設職員としての自覚・資質の向上を図る。研修の実施。
- \* ①各人の生活自立化へ向けた個別支援
- ②協同生活を通じた家族的仲間関係の確立
- 以上2点に基づいた利用者指導・支援へ向け、世話人活動の内容充実化を図る。

## C: 学習/研究

成年後見制度について資料収集

施設外研修への参加

相談支援事業者初任者研修受講 1名予定  
 サービス管理責任者基礎研修受講 1名予定  
 虐待防止、人権擁護についての研修

施設内研修会の開催—成年後見制度

施設外研修の伝達研修

## D: 虐待防止委員会

- \* 年に4回開催予定

## E 令和 03 年度年間スケジュール

04 月	入所式				
05 月	日帰り旅行			防災訓練①	
06 月			歯科検診		
07 月			歯科治療	防災訓練②	
08 月		夏期休暇(13～15)			
09 月			健康診断①	防災訓練③	
10 月	日帰り旅行				研修会①
11 月				防災訓練④	
12 月		冬期休暇(28～03)			
01 月				防災訓練⑤	
02 月					
03 月	納会		健康診断②	防災訓練⑥	研修会②

### ～本年度の課題～

平成 11 年にさやか工房を開設して、今年は 23 年目を迎えます。さやかの第三次 10 年計画に入り、「共に生きる、共に歩む」という私たちの理念を継承、体現できる組織体制を確立することが大きな課題としてあります。

昨年度は 新型コロナ感染予防に取り組みましたが、利用者が日々の生活を安心しておくことができることがどんなに大切なことなのかを実感しました。感染症のみならず、自然災害など、いつ非常事態になるか予測できない時代にあります。

どんな事態になっても、利用者が安心して日々の生活をおくることができるように、組織としての責任を果たしていきたいと考えています。

本年度の課題については以下 5 点にまとめました。

- 1 前年度からの継続として法人組織の世代交代、後継者作りを課題とします。  
「共に生きる、共に歩む」というさやかの理念を継承、体現できる組織体制の確立を計画していきたいと考えています。  
人権意識の高い、障害者の権利擁護を実践できる見識をもった職員を育てることを課題とし、職員の研修を充実させていきます。

- 2 法人の経営する事業—就労継続支援事業、共同生活援助事業の2事業が事業として安定していくことを目指します。  
さやかホームについては、前年度から夜間支援体制加算の変更をはじめとする基盤整備に取り組み、その基盤のもとに夜間支援をする労働者の労働条件の整備に取り組みます。  
今年度は、老朽化したさやかホームすばるの建て替えをし、利用者にとって生活しやすい環境整備をします。
- 3 障害者の加齢、それに伴う障害の重度化に対し、支援のあり方を実態に即したのものとして取り組んでいきます。10代、20代、30代、40代、60代と、さやか工房の利用者の年齢層がひろがりました。それぞれにとって、健康管理、作業支援、生活支援の内容を検討し実践していきます。
- 4 親世代の高齢化に伴い、親亡き後の障害者の生活、支援のあり方が現実の問題意識になってきていることを踏まえ、支援のあり方を検討していきます。将来的な成年後見制度の利用を見据え、成年後見制の学習を継続し、内容を深めていきます。
- 5 感染対策、危機管理に取り組み、利用者が安心できる生活を保障していきます。

さやかに集う障害者に寄り添っていきたいと思います。希望を持って進みたいと思います。

令和03年03月14日